

記載例

7年度活動計画書

計画策定日を記載

活動組織の名称

7年2月15日策定

活動組織名：〇〇の森を守る会

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名

〇〇の森を守る会

2. 活動組織の所在地

△〇郡〇〇町△番地〇

注：（別紙2様式第8号別紙）活動組織の規約第1章総則（事務所）と同じ、代表者宅が事務所の場合はその住所地番を記載。

3. 地区の概要、取組の背景等・取組の概要、地元自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど 地区の活性化への寄与等

活動する森林は、昭和40年代に植えられたカラマツ林で、将来炭鉱の坑木と考えていたが、燃料の転換に伴う影響による炭鉱閉山で、手入れが行き届かず長期間放置されていた。このため、木は密生により細く、風倒の被害木の発生も見られが荒れた森林になっていたことで、こ放置したままでは病虫害の発生や山崩れの危険性もあるので、役場や地域住民の話し合いにより、地域住民や森林所有者が活動組織を立ち上げ、多面的交付金で風倒木の除去、つる切り除伐等で、山の手入れを進めることで、健全な森林に育てることとした。この事業終了後の活動については、3年間の活動中に検討を重ねて、自立のための体制を決める。

※活動人員の確保・育成、活動経費の確保などについての取組を記載すること。

4. 取組概要

豊かな生き物を育む森を目指して整備を進めております。今回は活動面積を広げたことで、交付金事業を導入して活動することになりました。活動エリアは現在の活動区域の北側に位置し、この区域内は倒木が多いことから、過去に設置した作業路を補修しながら、倒木を中心に整理伐を進め、生産された木材は、木道の補修材、薪、しいたけ原木等に有効に利用する。伐採等の作業安全確保を進めるための作業道。遊歩道の下草刈り、危険木の除去、木道のメンテナンスを行って、近隣の子供や父母を対象とした親子による「森林との観察会等」を開催し、森林の大切さを学習し

5. 構成員の概要

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

- ・北海太郎：〇〇市、会社員（△◇会社勤務）資格：伐木、刈払機
- ・伊藤裕文：△△町、無職（元〇〇会社）資格：大型特殊免許保有
- ・◇◇◇◇：△△町、主婦、資格：伐木、
- ・□□□□：△△町、農業、資格：伐木、刈払機
- ・△〇〇〇：△△町、農業、資格：伐木、刈払機

6. 年度別スケジュール

取組メニュー	5年度		6年度		7年度	
1. 活動推進費	現地の林況調査、活動計画作成のための話し合い、安全研修会の開催					
2. 実践活動						
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)	整理伐・集材・運搬、作業道・歩道の整備、モニタリング調査、見回り調査1.8ha	1.8ha	整理伐・集材・運搬、作業道・歩道の整備、モニタリング調査、見回り調査1.8ha	1.8ha	整理伐・集材・運搬、作業道・歩道の整備、モニタリング調査、見回り調査1.8ha	1.8ha
A-2 森林資源利用タイプ	整理伐・集材・運搬、炭焼き・薪・ほだぎ原木づくり	2.7ha	整理伐・集材・運搬、炭焼き・薪・ほだぎ原木づくり	2.7ha	整理伐・集材・運搬、炭焼き・薪・ほだぎ原木づくり	2.7ha
C 森林機能強化タイプ (歩道や作業道の作設・改修等の延長を記載)	—	0m	—	0m	作業道の作設・改修	200m
2-1 間伐等（除伐・枝打ちを含む）実施面積	人工林だけでなく天然林についても入れること					
2-2 活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていないか、と考えられる森林を整備する面積	施業履歴等を確認する必要はなく、荒廃している等の場所であれば面積を記入すること。このとき、面積はおおよその面積で記載し測量等を行う必要はない。					
D 関係人口創出・維持タイプ	—		—		地域外関係書に対し比較的安全な手のこによる倒木除去やツルきり除伐の体験後、活動組織との意見交換会の等の実施	
3. 資機材・施設の整備等						
(1/2以内)	刈払機 2台		チェーンソー 2台		—	
(1/3以内)						
(1/3以内)						

※1 延長には森林調査・見回りを除く。

※2 2のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※3 2-2については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する森林の整備を実施している場合はその森林の面積を除外し、その年度に新たに該当する森林の整備を実施する面積を記載する。

※4 資機材・施設の整備の1/3以内は、林内作業車、薪割機、薪ストーブ、炭焼き小屋が対象

※5 2のDの関係人口創出タイプについては、年度毎の実施内容を記載する。

7. 活動の目標と結果を測定するためモニタリング方法（地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載）

タイプ名	活動の目標	数値目標	モニタリング方法
里山林保全	混みあった林をすっきりして、健全な状態にしたい。	相対幹距比 2ポイントアップ	100㎡の調査区
森林資源利用	混みあった林をすっきりして伐採した木材を利用したい。	薪・しいたけ楢木年間利用料 20㎡	伐採木の搬出利用量を集計

(注) 目標の設定及びモニタリング方法の記載については、別に定めるガイドランを参考とすること。

8. 年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

年度	講習の名称	講習の内容
5年度	刈払い機講習、チェーンソー講習	構成員全員参加による座学及び現地実習
6年度	刈払い機講習、チェーンソー講習	構成員全員参加による座学及び現地実習
7年度	刈払い機講習、チェーンソー講習	構成員全員参加による座学及び現地実習

9. 安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

安全装備：防護服、防護手袋、ヘルメット、チャップス、防虫ネット、応急用薬品等

傷害保険：NPO活動総合保険

10. 4年目以降の活動（森林管理）計画

森林所有者及び地域住民等の協力により、森林管理活動を継続しながら地域の子供等を対象とした利活用のイベント等も実施する計画を予定している。

11. 計画図（協定の対象としている区域の図面）

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

12. 持続性向上に向けた取組

・活動員の確保等:募集チラシの公共施設等に配布、HPやSNS等による電子媒体での活動状況の発信により若い会員の確保に努める。
 ・活動継続の取組:企業等に協力を要請し、会員・賛助会員を増やして会費を増やすことで活動の継続を図る。

※活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取組について記載する。

13. その他

(1) 写真

取組の実施箇所に長期わたり手入れをしていなかったと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

(2) 収入

会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入について記載すること。

項目（費目）	内 容	年間収入見込額 (円)
会費	会員10人×1カ月500円×12カ月	60,000
資機材の活動組織負担	会員10名×20,000円	200,000

(3) 委託

活動計画における取組についての委託	
・委託機関名	〇〇森林組合
・連絡先（電話番号等）	090-232-4321
・委託時期	令和7年6月頃
・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）	林班〇小班内にある10本の風倒木が掛かり木で、径級も太いため構成員が伐倒するのに危険なので、伐倒等を森林組合に委託する。
・委託金額	50,000円

※ 活動を作業委託する場合は、活動組織としての活動（作業の監督や林内の見回り等）を活動計画の中で必ず明記すること。